全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

第11回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園で
審査員特別賞を受賞した「長野県塩尻志学館高校」の中沢さんが
2012年12月22日、市民タイムス・信濃毎日新聞に掲載されました。

● 市民タイムス／
2012年12月22日付 地方版

全国高校ビジネス甲子園
中沢可南子さん（志学館）特別賞
女性限定の宅配提案



女性限定宅配サービスのアイデアで審査員特別賞を受けた中沢さん

塩尻志学館高校総合学科の3年生・中沢可南子さん（18）＝松本市今井＝が、第11回全国高校ビジネスアイディア甲子園（大阪商業大学、毎日新聞社主催）で、女性配達員による女性限定宅配サービスを提案し、審査員特別賞を受けた。全国184校から7294点が寄せられた中から最終審査の6点に選ばれ、このほど大阪府の大阪商業大学でプレゼンテーションを行い、高い評価を受けた。

ビジネス系列の文書デザインの授業で、2カ月をかけて初めて企画書を作成した。宅配員を装う犯罪が起きていることから、女性が配達することで安心を売りにするサービスを考えた。女性配達員の募集や事業のPR方法も含めたシステムを分かりやすく図式化し、収支計算もして30％の利益率を確保できると提案した。

授業を受けた19人が応募した。中沢さんは「プレゼンテーションは5分間で説明する工夫が大変で、初めての経験で緊張して声が震えた」と話すが、グランプリに次ぐ審査員特別賞となった。

指導した千村泰浩教諭は「これからは資格を取得するだけでは駄目。自分で考えて仕事をつくれるようにならないと」と語る。卒業後はビジネス関係の大学進学を志望する中沢さんも「企画のひらめきで会社に貢献できるようになりたい」と意欲を話した。（柳 純一）

※信濃毎日新聞 2012年12月22日付
地域面にも紹介されました。

※市民タイムスの許諾を得て転載しています。